

生き物 カレンダー

6月、7月、8月に
見られる代表的な
生き物を月ごとに昆
虫、植物、野鳥の
順に並べています。



アカスジキンカメムシ (6月)
カメムシの仲間。光沢のある
緑色が美しい。嫌な時に出す
匂いはリンゴの匂いに近い。



ウツボグサ (6月)
コジュケイの林で見つかる。
いくつもの小さな紫色の花を
付けるので目立つ。



ホトトギス (6月)
ウグイスに托卵するため夏鳥として
一番最後に飛来し、鳴き声は良く響
く。メスは赤色のものもいる。



ナナフシモドキ (7月)
モドキという名前だが、ナナ
フシの仲間。枝に化け、食べ
られない様に擬態している。



ネジバナ (7月)
花が莖に巻き付くように咲いているので
の名前がついたと言われる。淡いピンク色
の花をつけ、バッタの原でよく見つか
る。



カワセミ (7月)
この時期にやってくるのは幼
鳥が多い。成鳥と比べお腹の
オレンジが黒い。



ショウリョウバッタ (8月)
精霊(お盆)の時期に成虫が見ら
れ始めるので、この名前がついた
と言われる。日本最大のバッタ。



ヤマユリ (8月)
雑木林でひときわ大きな花を
付けるのでよく目立つ。花が
重く倒れている事もしばしば。



ツバメ (8月)
夕方にとび回っている所を良
く見かける。成鳥は尾羽が長
く、幼鳥は短い。

木育担当の「木になる」おもちゃ

「くまのようちえん」

今年の春より「くまのようちえん」が木育ひろばに開園しました。メンバーは総勢36体。それぞれ名前はありませんが目印があります。おしりを見ると暦(月)、星座、干支がイラストと共に記されています。製作はtake-g テイクジー(長野県中野市)。このくま達は観察の森のヤマザクラを使って製作されました。観察舎前の畑で大きくなり影を落としていたヤマザクラ、元気のない状態だったので大木製材所(牛久市)に依頼して伐採、製材をしていただきました。材を切り、乾燥、製作と一年以上かけてひろばに生まれ変わってやってきました。ヤマザクラの材はほんのり桃色の美しい色という印象がありますが、この材

はマーブル模様、もしくはやや虎柄ともいえるような模様が目立ち、ユニークな個性をかもしだしています。目印を見なくても身体の模様でお気に入りのくまをすぐに見つけられますね。

このくま達は木でつくられた「テディベア」です。「テディベア」とはみなさんご存知のように「くまのぬいぐるみ」のことで子どものおもちゃにとどまらず、大人にも世界中にコレクターがいるほど愛されています。いつも一緒に過ごすことで寂しさを感じさせない癒し効果もあるテディベア。このひろばでも遊んでいるそばに一緒にいて、子どもたちが笑顔になるお守りのような存在になるでしょう。



生き物びっくあっぷ

バッタの原の生き物紹介

～夏だ！セミ & セミの巻～

野原の真ん中にはいないけれど

エゴノキ、エノキ、サクラ、ヤマグワ、クヌギコナラ、ケヤキ。野原を囲む木々で鳴いているよ。

日本には約30種類のセミがいると言われて

います。牛久近隣で聞こえるセミの鳴き声は

♪ミーンミンミン

♪カナカナ

♪ツクツクボウシ

♪チージー

♪ジリジリジリ

の5種類ですが、

ここで問題です！

上記のどのセミから鳴き始めるでしょう？

正解は

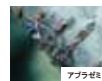
①ニイニイゼミの♪チージー
6月下旬頃から鳴きはじめます。
泥だらけのセミの抜け殻が特徴



②同時期頃からヒグラシの
♪カナカナカナ
も6月下旬～9月中旬頃。夕方な
ど少し暗くなってから鳴き始めます。



③アブラゼミの♪ジリジリジリ
鳴き声が油で揚げる音に似ている
と言われています



④ミンミンゼミの♪ミーンミンミン
傾斜地の森林で鳴いています。



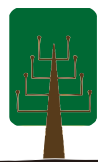
⑤ツクツクボウシの♪ツクツクボウシ
↑私はこのセミの声を聞くと夏休
みの宿題が終わっていない～と
焦っていた子ども時代を思い出
します。



鳴くのは全てオスで、メスは鳴きません。セミのお腹側を見るとオスには腹弁が発達しているのが分かります。ここを開けたり閉めたりして音の強弱を調整。お腹の中にある鼓膜のような器官を使い、お腹の空洞を膨らませたりへこませたりして震わせ共鳴させて鳴いています。

関西圏出身の解説員に聞くと、西では牛久で聞くセミの声の鳴く順番が違うそうですよ。都内から森に来園された方からは、近くに針葉樹林がないので久しぶりにヒグラシの大合唱を聞きました、とのお話を聞きました。

夏の森を歩いているとセミの羽化の瞬間に出会える事があります。夏休み、ちょっと早起きして涼しい森で色々な発見をしてみてくださいね。(文/自然解説員 金久)



夏のイベント情報



牛久自然観察の森
季刊情報誌



森のしんぶん

夏号 No279

夏こそ昆虫！

家族昆虫教室

6/8(土) 7/13(土) 8/10(土)

夏は昆虫が一番見られる季節です！みんなでたくさん
の昆虫を探しにいきましょう。

開催時間：午前9時30分～10時15分

対象：小学生とその家族 参加費：1家族500円

定員：10組

集合場所：ネイチャーセンター前

持ちもの：虫取り網、虫かご

申し込み：申込み不要、当日受付

備考：雨天時中止



幼児昆虫教室

7/15(祝) 8/11(日)

親子で昆虫の不思議さや、虫と触れ合う楽しさを体験しよう。

開催時間：午前9時30分～10時15分

対象：3歳～6歳の未就学児とその保護者

参加費：幼児1人につき300円(保護者の方は無料)

定員：10組

集合場所：ネイチャーセンター前

持ちもの：虫取り網、虫かご

申し込み：申込み不要、当日受付

備考：雨天時中止



夏の昆虫教室 7/21(日)

夏の雑木林は昆虫の宝庫！採集したり、誘引できる
トラップの紹介をしたりと盛りだくさんの内容です♪

開催時間：午前9時30分～10時15分

対象：小学生とその家族

参加費：子ども1人300円

定員：10組

集合場所：ネイチャーセンター前

持ちもの：虫取り網、虫かご

申し込み：申込み不要、当日受付

備考：雨天時中止



夜の昆虫教室 8/3(土)

普段入る事の出来ない夜の観察の森は、夜行性の昆虫が活発に動きまわります。セミの羽化や樹液に集まるカブトムシなど夜ならではの生態をみる事が出来ます。

開催時間：午後7時～8時30分

対象：小学生とその家族

参加費：1人につき500円

定員：50名

集合場所：タヌキの林ドングリ広場

持ち物：懐中電灯(赤ゼロハンで覆ったもの)

申し込み：7/2(火)より電話にて事前予約

備考：雨天時中止



鳴く虫展 8/17(土)～8/25(日)

全国から集めた鳴く虫約30種を生態展示。馴染み深いスズムシやコオロギはもちろん、今では珍しくなったキリギリスやマツムシも展示予定。鳴く虫達が綺麗な音色で皆様をお迎えいたします。また期間中は1家族につき、スズムシ5匹を1セットとして無料でプレゼント♪

時間：午前9時～午後4時30分 ※25(日)は午後3時まで、19(月)は休園日。

開催場所：ネイチャーセンター内 共催：鳴く虫保存会茨城支部

備考：スズムシをご希望の方は、持ち帰り用のケースをご持参下さい。



絵本の読みきかせ会

森でランチ 6/14(金)

広い野はらでお弁当を食べて絵本を楽しみましょう。
旬の自然の紹介と手遊び、わらべ歌で遊びましょう。

時間：正午～午後1時

対象：乳児～幼児とその保護者

参加費：無料

集合場所：ハッタの原

持ち物：お弁当、飲み物

申し込み：申込み不要、当日受付

備考：雨天時中止



野鳥関係

バードウォッチング 6/16(日)

園内と園外の田んぼと小野川沿いの約3キロの多様なコースを歩きます。

時間：午前9時～10時30分

対象：一般 参加費：無料

集合場所：正門前

備考：双眼鏡の無料貸出有り

雨天、強風時は中止

協力：牛久とりの会

星空観察会

こども星見隊 8/10(土)

夏の星座や星団・星雲などを本格的な天体望遠鏡を使って観察します。

時間：午後7時～9時

対象：小学4年生～6年生とその保護者

定員：20組40名 参加費：無料

集合場所：ネイチャーセンター

申し込み：7/2(火)より電話にて事前予約

備考：雨天、曇天時決行

協力：こども星見隊

